

井原高校ふれ愛まつり & 鬼まつり

～地域に飛び出した活動～

岡山県立井原高等学校

はじめに

本校は以前から地域と共に地域に根ざした教育活動を行ってまいりました。その中でも特に大きな行事である「ふれ愛まつり」を紹介します。

1 ふれ愛まつりの経緯

平成20年度に精研高校が閉校しましたが、精研高校時代には地域ふれあいデーという活動が行われていました。地域ふれあいデーでは、学校・PTAが中心となり精研高校敷地内で各種イベント・農産物販売・PTAバザーなどが行われていました。

平成22年度から、地域ふれあいデーは地域ふれあい市と名称変更し、地域へ飛び出した活動へとスタイルを変えていきました。井原市社会福祉協議会、井原市町づくりの会、井原公民館、国際ソロプチミスト井原、PTA等と協力し、井原市の祭り「鬼祭り」と地域ふれあいデーの同時開催としました。



写真1 えぶた

会場を井原市社会福祉協議会及び駐車場周辺とし、地域を巻き込んだ大がかりな開催となりました。また、井原市町づくりの会から地区を練り歩くえぶたの製作依頼があり本校農業クラブの生徒を中心に般若や暴君などを製作しました。(写真1)



写真2 マスコットキャラクター

平成24年度には名称をふれ愛まつりに改称し、新たにマスコットキャラクターを生徒から募集し、ふれあいたまちゃんに決定しました。また農業クラブの生徒が中心となりふれあいたまちゃんのえぶたを製作しました。(写真2)

2 取組みの概要

会場では生徒会が中心となりふれ愛ステージでの各種イベントが行われ、園芸科では各種草花や野菜などの農産物販売が行われ、家政科では精研おこわ

や精研クッキーなどの手作り商品の販売が行われました。PTAではホルモンうどんや焼き鳥やフランクフルトなどの露天商品の販売が行われ、井原市社会福祉協議会では共同募金やデニッシュバーなどを本校1年生と協力して行われ、国際ソロプチミスト井原ではチャリティーバザーが行われました。当日は大盛況でした。(写真3)



写真3 会場の様子

また、地域のお祭りである鬼祭りにも参加させて頂くために事前に町づくりの会の方に学校に来て頂き、鬼祭りの由来や鬼祭りに際しての注意などを話して頂く機会を設けました。(写真4) 生徒数名は鬼の衣装の着付けを教えて頂き本番を迎えることになりました。(写真5) 本番では鬼の衣装に扮し町内を練り歩きます。(写真6) 地元の長発太鼓の演奏で会場を盛り上げました。(写真7)



写真4 事前学習



写真5 着付け指導



写真6 鬼達



写真7 長発太鼓

おわりに

平成25年度から社会貢献活動が実施されますが本校は以前から多くの社会貢献活動を実施しています。今後はこれらの活動を継承し、さらに発展していきたいと考えています。この場をお借りし関係各位に感謝申し上げます。